

市交際費の支出状況



令和3年10月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分 累計	7 49	40,000 146,000
見舞い	今月分 累計	0 0	0 0
御祝	今月分 累計	0 4	0 22,480
賛助	今月分 累計	0 0	0 0
激励金	今月分 累計	0 0	0 0
接遇	今月分 累計	1 33	5,500 73,740
会費	今月分 累計	1 3	5,000 19,000
その他	今月分 累計	0 0	0 0
合計	今月分 累計	9 89	50,500 261,220

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ

総務課 秘書係
☎75-2115

「みんな誰かの宝物」
1948年12月10日に国連で「世界人権宣言」が採択されたことを記念して、日本では12月4日から10日までを人権週間と定め、人権啓発活動を行っています。多久市でも、人権ポスターと人権標語の募集を行い、多くの作品が寄せられました。優秀な作品は、12月5日に開催する人権フェスタで表彰を行います。

人権ポスターや人権標語から、子どもたちは「いじめ」「インターネットの問題」「LGBT問題」に関心があることが分かります。今年のポスターは「かがやく個性」「みんなちがってみんないい」など人権に対して子どもたちの純粋で素直な気

tomon i kiru

持ちが現れている作品が多くありました。

日常生活では、新型コロナウイルスの感染拡大によって、感染者やその家族、ウイルスと闘う医療従事者や運送業者などに対する差別や誹謗中傷が社会問題となりました。また、子どもへの虐待や他人の生命を奪う事件も後を絶たず、他人の人権や生命を軽視するようなことが起きています。

12月の人権週間に合わせて、家庭でも人権について話し合っている人権意識「一人ひとりの個性を大切に」という声が多くの人に届くように「みんな誰かの宝物」として、生命が尊重されるような社会になればと考えます。

社会教育指導員 木村博重

Message for citizen

温故
創新

市長「コラム」



更なるご快復を祈念しました。

多久聖廟のある多久は孔子直系子孫との御縁を頂いています。第七十七代子孫孔徳懋先生は温厚柔和な北京在住の105歳。以前に多久聖廟に参詣もされ、感激されました。

徳懋先生とは、友好交流で孔子生誕地・山東省曲阜市の世界遺産である孔廟、孔府、孔林を訪れた際に、北京で初めてお目にかかりました。大きな母のようなお人柄が印象的でした。

11月初旬に先生が体調不良でICUに入院との報が入り、心配でお見舞いしたくとも、コロナ禍で叶いません。出入国にも経過観察などが必要で片道2〜3週間程を要するのです。

せめて多久の心を届けたいと、墨筆のお見舞いメッセージをSNSで送信。するとすぐに返信が来ました。こちらの心遣いに感謝され、メッセージに感謝し、元氣を取り戻されたとのことでした。有り難く拝見し、

孔徳懋先生と「恕」の心

市長 横尾 俊彦

11月19日 記

更なるご快復を祈念しました。

しかし、国内コロナ禍がやや落ち着きを見せる11月15日、先生の訃報が届きました。哀惜の念ひとしお胸に迫りました。19日の葬儀に、弔電をご遺族と中国人民政治協商会議の汪洋主席に送りました。先生は同会議委員で、国としての葬送の儀式に日本国多久市長名の供花もさせていただきました。北京の方角を仰ぎ、黙祷を捧げ、御霊の安寧の祈りを捧げました。

激動の世紀を過ごされた徳懋先生が強調されるが「恕」です。孔子が諭した人生を貫く最重要徳目で「己の欲せざる処 人に施すことなかれ」の教えです。恕の実践を、次代を担う第七十九代子孫・孔垂長先生はじめ未来の世代へ繋ぐことがSDGs時代に益々重要です。コロナ禍にこそ恕を共有したいものです。あわただしさが増す師走、お健やかに過ごして下さい。